

入間川地区小中学校連携教育推進事業

1 研究主題

小・中学校の連携をふまえた心豊かでたくましい「入間川っ子」の育成
～地域の高齢者や障害者などのかかわりを通して～

2 研究への取組方針

- ・義務教育の9年間を見通した小・中学校の連携と、児童生徒・教職員・PTAが学校行事や研修会、講演会を通して体験的・啓発的経験の充実を図り、小学校から中学校への児童の円滑な移行が図れるようにする。
- ・地域福祉連携モデル地区として、福祉教育の推進に力を注ぎ、高齢者や障害者との交流などを通して、ユニバーサル社会への理解を深め、児童生徒に様々なことに柔軟に対応できる豊かな心と健やかな体の育成を図る。

3 研究への取組・研究経過

(1) 小中学生の交流

- ①ミニバス朝練習支援…男女バスケ部員による技術指導
- ②夏季水泳指導…男女水泳部員による技術指導
- ③中学校体育祭のダンス・組体操の見学会
- ③Welcome 川中…中学1年生による中学校の生活紹介
- ④狭山市吹奏楽祭合同演奏…吹奏楽部員による技術指導
- ⑤小中学校合同あいさつ運動…児童会と生徒会による合同あいさつ運動
- ⑥部活動体験入部…小学校6年生対象の部活動体験
- ⑦地域清掃…あいさつ橋歩道橋の小中合同清掃・入間川清掃・赤間川清掃

(2) 地域でのボランティア活動

- ①お花見ボランティア…地域のお年寄りとともに稲荷山公園でお花見を行う。
- ②鶉ノ木祭りボランティア…地域のお祭りに小中学生が参加し神輿を担ぐ。
- ③七夕祭り車椅子ボランティア…車椅子を押して七夕祭り会場を歩散策する。
- ④七夕祭り子どもチャレンジ…七夕祭りに無料のゲームコーナーを設置する。
- ⑤ゆりの木祭りボランティア…小学校のバザーに中学生が参加し交流する。

(3) 豊かな心を育む体験講座

- ①特別支援学校との交流会…狭山特別支援学校との交流
- ②アーチェリーで広がった世界
アテネパラリンピックメダリストの平沢奈古さんを講師にお招きして、アーチェリーの試射及び講演会
障害を抱えながらもそれを感じさせない生き方に感動

(4) 教職員の交流

- ①小中連絡会[1]…中学校入学後の学校生活の様子を小学校の先生方が見学。
- ②小中連携合同研修会…笠松直美先生を講師にお招きして、情報モラルに関する講演会を開催した。
- ③小中連絡会[2]…小学校の授業参観後に新入生の情報交換会を行う。

4 成果と課題

『百聞は一見にしかず、100見は一体験にしかず』を合い言葉に、小中学生の交流や地域でのボランティア活動、豊かな心を育む体験講座、教職員の交流など様々な体験的な活動を通して、研究主題である心豊かでたくましい「入間川っ子」の育成に取り組んできた。小と中の垣根が低くなってきたことや年々ボランティアなどに積極的に参加する生徒が増えてきたことが成果の一つといえる。今後は、より一層体験的な活動を継続する一方で、学習や生活の決まり、清掃の仕方等について連携を深めていきたいと考えている。

夏季水泳指導



Welcome 川中



七夕祭ボランティア



特別支援学校との交流会



アーチェリー

